

ティーンズスタッフMのひとり言🐼…

「秋は読書に限る！」



日が暮れるのが早くなってきたため、虫の音がきれいだなあ…と
日常生活で「秋」を感じられるようになってきました。

さてさて、皆さん。秋といえば何を思い浮かべますか？

…

そう！読書です!! 読書ですわね!!! (E)

皆さんは、「読書の秋」と言われるようになった理由をご存じですか？

なぜこの漢文が
日本で広まったのでしょうか？
→
いざかすい…

これは唐の国の韓愈（かんゆ）という詩人が詠んだ
「符読書城南（ふしよをじょうなんによむ）」という
詩の一部、「灯火親しむべき」に由来します。
秋の夜は灯火の下で読書をするのにふさわしい、
という意味です。

きっかけは、夏目漱石だといわれています。

夏目漱石は「三四郎」という小説の中で、
「灯火親しむべし」を取り上げました。

そのうち与次郎の尻が次第に落ち付いて来て、
燈火親しむべしなどといふ漢語さへ借用して
嬉しがるようになった。引用：夏目漱石「三四郎」

この夏目漱石の文章により、「秋の夜は読書に限る！」
という風潮が日本中に広まりました。



もじきんじ
んやかん

私も、もっと漢文を読めるよ
うになりたい! 勉強がんばろう!!!
昔の人も、私たちと同じよう
なことを考えていたんだなあ
と思うと、感慨深いですね。



皆さんは、この秋にどんな本
と出会い、何を考えるでしょ
うか。

多くの本に触れて、充実した
秋を過ごしてみてください
(#^^#)

end...

参照https://www.tokai-tv.com/tokainews/feature/article_20211116_13547

(ティーンズスタッフ：みーさん) 東海テレビNEWS記事(春でも夏でも冬でもなく…なぜ『読書の秋』な
のか その理由に” 諸説 “あり 夏目漱石は「灯火親しむべし」) より

～中高生むけ図書館だより～

OWL NEWS

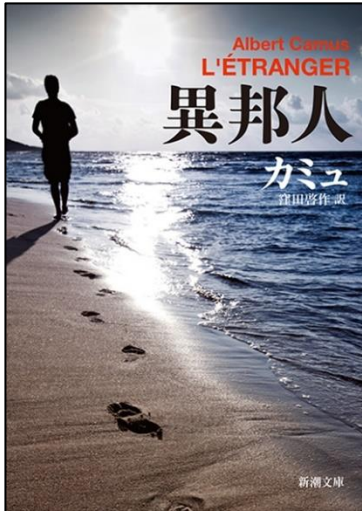
Vol.
29



(ティーンズスタッフ：曼珠沙華)

2023. 秋号 (2023. 10月 発行)

わたしたちのおすすめ本



『異邦人 改版』

カミュ／著 窪田啓作／訳 (新潮文庫刊)



国語の教科書などで外国の小説、日本の大正、昭和時代の小説を読んだ時にいつもとは一風変わった雰囲気を感じたことはありませんか？

読書の秋のこの時期はぜひいつもと違った本を選んでみてはいかがでしょうか。

今回紹介するのは、フランスの小説「異邦人」。

本書は、母の死に悲しむそぶりを見せず、翌日海水浴に行き、女と楽しみ、「太陽のせい」だと言って人を殺害する。そんな常人では理解のできない主人公。彼は一体なぜその行動に至ったのか。「異邦人」である彼の思いとは…。

「読書の秋」に外国の小説・昔の小説を読んでいつもと違う雰囲気を感じてみませんか？

(ティーンズスタッフ：よしみ)



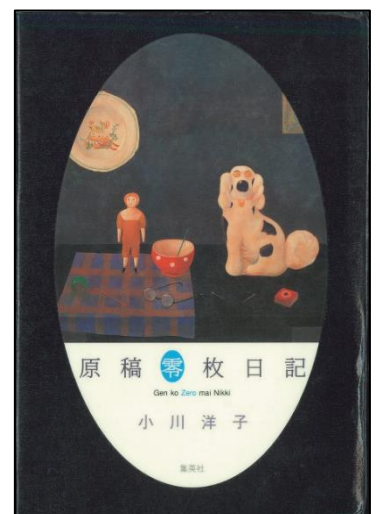
『原稿零枚日記』

小川洋子／著 (集英社)

旅行先の料亭だったり、近所の運動会だったり、芸術になった町のツアーだったり…。作家である主人公が体験した出来事を日記として綴ったもの。

時には家族のことや、実家のことを思うけれども、何故か彼女の書いた原稿は、今日も今日とて零枚なのである。

(ティーンズスタッフ：ユーリカ)





『カゲロウデイズ [I] — in a daze —』

じん(自然の敵P)／著

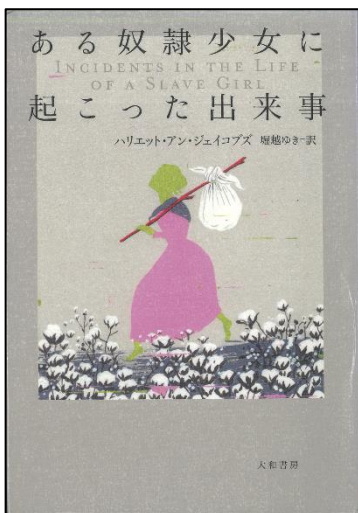
(KADOKAWA／KCG文庫)

©KAGEROU PROJECT/1st PLACE 2012



これは、とある一夏をめぐる少年少女たちの物語。
 ニート、電腦世界在住、職業＝アイドル、夏休みに都会に来た小学生たち、そして“メカクシ団”。
 一人の少女を中心に集まった彼らの、青春と、人生と、恋と、家族のお話。
 YouTubeに投稿されたボーカロイド曲の数々をBGMに、一度きりの夏を生き抜いた彼らの物語を是非読んでみてください。

(ティーンズスタッフ：ユーリカ)



『ある奴隷少女に起こった出来事』

ハリエット・アン・ジェイコブズ／著

堀越ゆき／訳 (大和書房)



これは約200年前に生まれた女性の自伝です。
 彼女の人生から、いろいろなことを考えられると思うので、ぜひ読んでみてください。

(ティーンズスタッフ：深緑)



私のペースで しおりは進む

2023・第77回 読書週間
 10/27～11/9



終戦の2年後の1947(昭和22)年、まだ戦争の傷あとが日本中のあちこちに残っているとき、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」と、出版社・取次会社・書店と図書館が力をあわせ、そして新聞や放送のマスコミも一緒になり、第1回「読書週間」が開かれました。

第1回「読書週間」は11月17日から23日でした。これはアメリカの「チルドレンズ・ブック・ウィーク」が11月16日から1週間であるのにならったものです。いまの10月27日から11月9日(文化の日をはさんで2週間)になったのは、第2回からです。

出典：公益社団法人 読書推進運動協議会ホームページ

(<http://www.dokusyo.or.jp/ji9yo/dokusyo/dokusyosozai.htm>)

